



◀くらの花の拡大

葉はたくさんの小葉からなり、花は淡黄緑色。果実<sup>うすきみどり</sup>は種子の間がくびれる。根を煮つめた汁<sup>に</sup>を葉<sup>しる</sup>に使うが、汁をなめると苦くてクラクラするのでこの名がつく。

花期 6~7月

草たけ 80~150cm

生育地 草原, 土手



◀くらの(まめ科)

茎を折ると白乳液<sup>お</sup>がでる。葉は無柄<sup>むへい</sup>で互生<sup>ごせい</sup>し細かい鋸歯<sup>こまきよし</sup>がある。茎頂<sup>けいちよう</sup>に5枚の葉が輪生<sup>りんせい</sup>し、葉液<sup>ようえき</sup>に花をつける。

花期 6~7月

草たけ 40~70cm

生育地 山野<sup>さんや</sup>の草原<sup>そうげん</sup>, 林<sup>はやし</sup>のへり



▼たかとうだい (とうだいぐさ科)

吸ばん<sup>きゅう</sup>のある巻きひげ<sup>ま</sup>や、気根<sup>きこん</sup>で岩<sup>いわ</sup>や木<sup>き</sup>の幹<sup>みき</sup>にはいのぼる。大部分は3裂<sup>れつ</sup>した草葉<sup>くさば</sup>だが中には2~3葉<sup>くさば</sup>にわかれた複葉<sup>ふくよう</sup>のものもある。

花は黄緑色<sup>き</sup>をし、花弁<sup>かべん</sup>が5枚ある。

花期 6~7月

草たけ 落葉性<sup>らくえきせい</sup>のつる植物

生育地 林<sup>はやし</sup>の中, 栽培



▼つた(なつづた)(ぶどう科)



たかとうだいの花

